



平成 27 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社ゲオホールディングス  
本 社 住 所 愛知県名古屋市中区富士見町 8 番 8 号  
代 表 者 名 代表取締役社長 遠藤 結蔵  
(コード番号:2681 東証 第一部)  
問 合 せ 先 情報管理部 GM 三谷 康生  
(TEL 052-350-5711)

### 平成28年3月期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 平成 2 8 年 3 月 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正

##### (1) 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平 成 2 7 年 4 月 1 日 ～ 平 成 2 7 年 9 月 3 0 日)

平成 28 年 3 月 期 第 2 四 半 期 連 結 業 績 予 想 を 以 下 の と お り 修 正 す る こ と と い た し ま し た。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	127,000	5,000	5,200	2,700	51.59
今回修正予想 (B)	124,546	8,101	8,765	5,417	103.50
増減額 (B-A)	▲2,454	3,101	3,565	2,717	—
増減率 (%)	▲1.9	62.0	68.6	100.6	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	124,932	2,542	2,769	2,883	53.46

#### 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきまして、売上高につきましては、リユース系が堅調に推移したものの、メディア系各商材の軟調を補えず未達となりました。しかしながら、多くの商材において粗利率の改善がみられたことに加え、①出店と店舗照明の LED 化工事の進捗が遅れ気味であったこと、②タイトル不足に応じたプロモーションの抑制、等により人件費や備品消耗品費・広告宣伝費をはじめとする販売管理費が想定を下回ったことにより、営業利益は前回業績予想を上回る見込みとなります。また、経常利益については、各種引当金等の戻入等の発生により、親会社株主に帰属する四半期純利益については、減損損失が想定を下回ったことにより、それぞれ前回業績予想を上回る見込みであります。

(2) 通期 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想を以下のとおり修正することといたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 275,000	百万円 8,500	百万円 9,000	百万円 4,500	円 銭 84.64
今回修正予想 (B)	272,000	13,600	14,600	8,600	164.30
増減額 (B - A)	▲3,000	5,100	5,600	4,100	—
増減率 (%)	▲1.1	60.0	62.2	91.1	—
(ご参考) 前期通期実績	270,308	9,558	10,030	7,337	137.99

修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきまして、(1)記載の見通しとなりましたことから、通期業績予想についても修正することといたしました。下期については、(1)①記載の期ずれ要素を織り込んだ上で平成 27 年 5 月 8 日発表の業績予想から大きく乖離することなく推移することを想定しており、当第2四半期連結累計期間における推移を反映させた結果、売上高におきましては若干下回る見込みとなりますが、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益が前回業績予想を上回る見込みであります。

以上